

SONY

4-742-281-01(1)

交換レンズ
Interchangeable Lens
Objectif interchangeable

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi

MASTER

FE 600mm
F4 GM OSS
E-mount

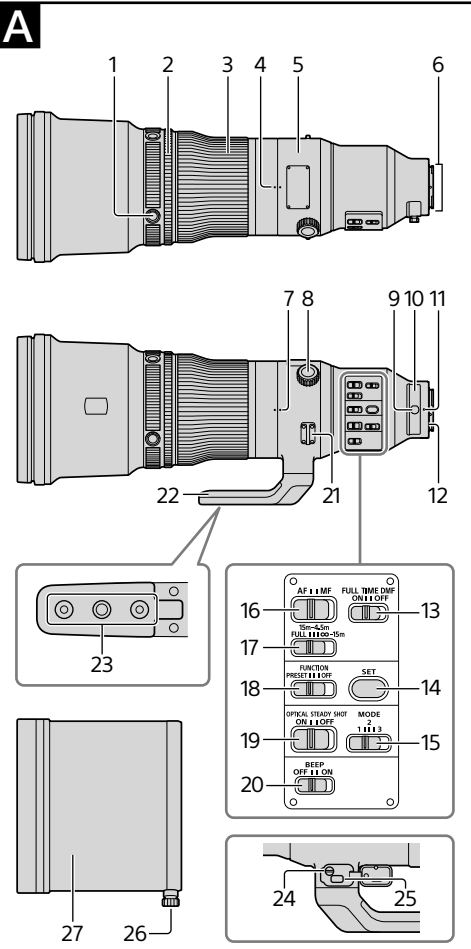
α

SEL600F40GM

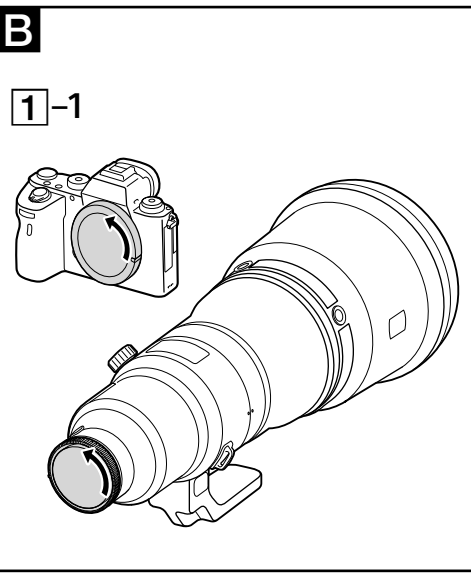

4742281010

<https://www.sony.net/>
©2019 Sony Corporation
Printed in Japan

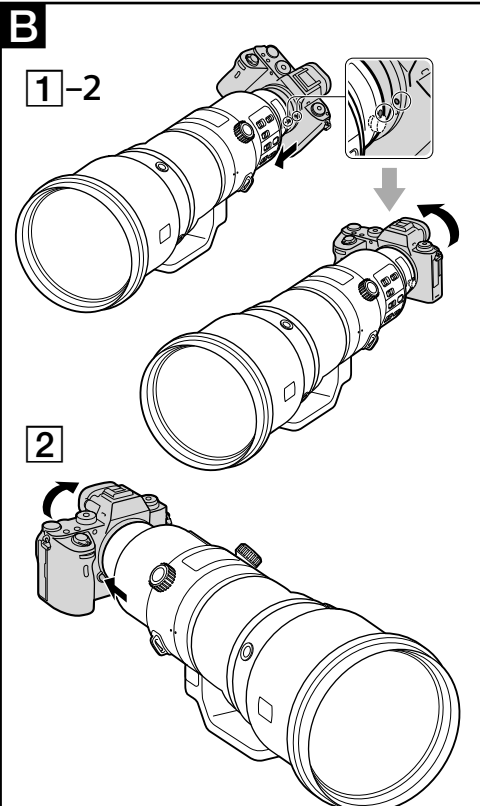
A



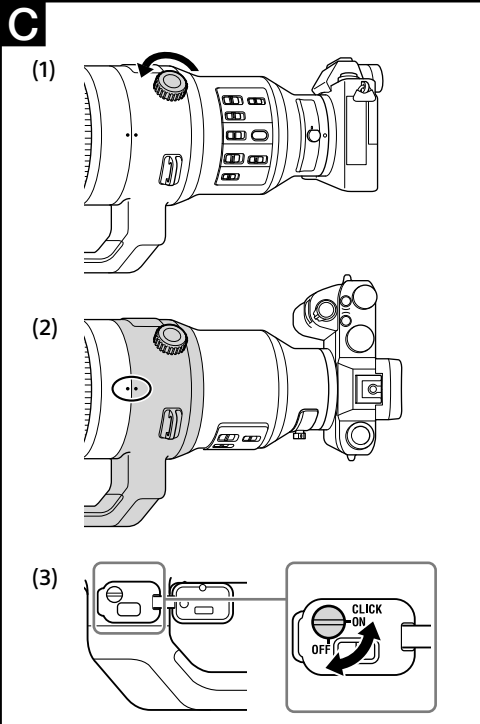
B



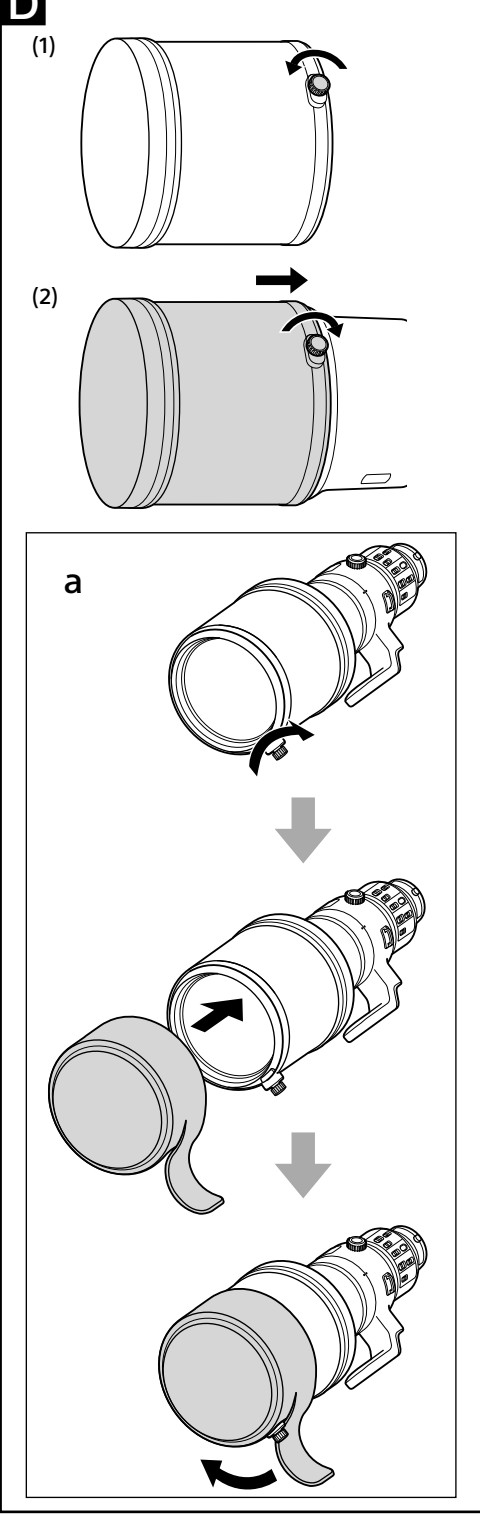
B



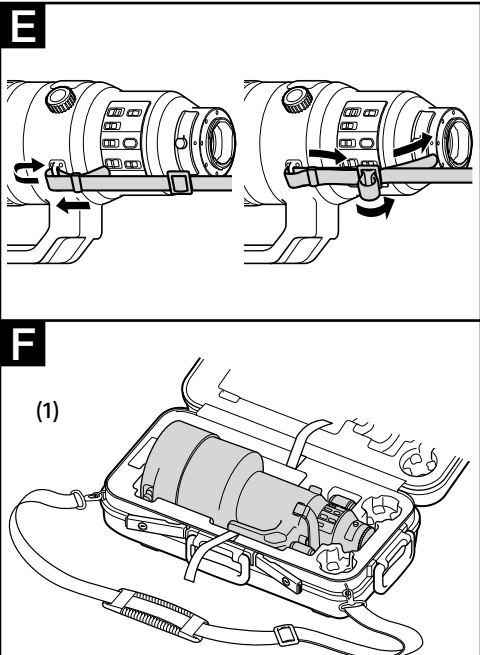
C



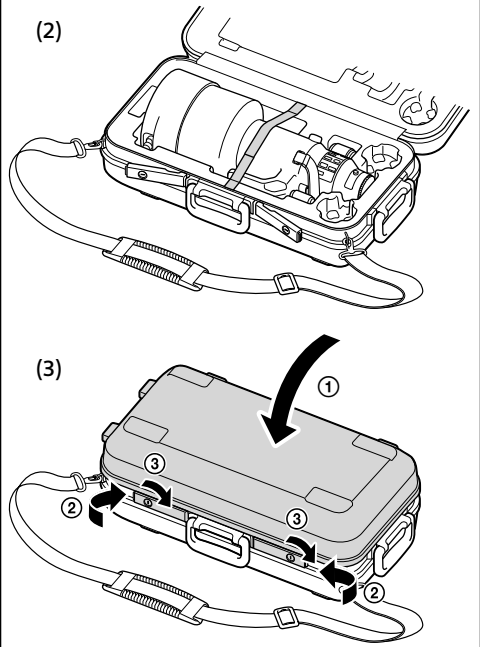
D



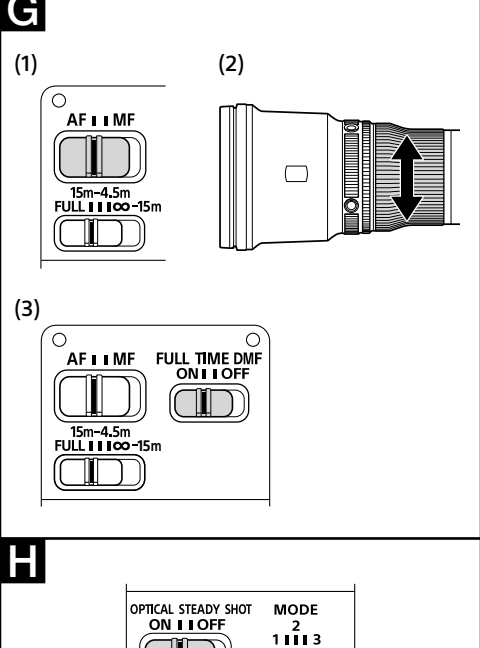
E



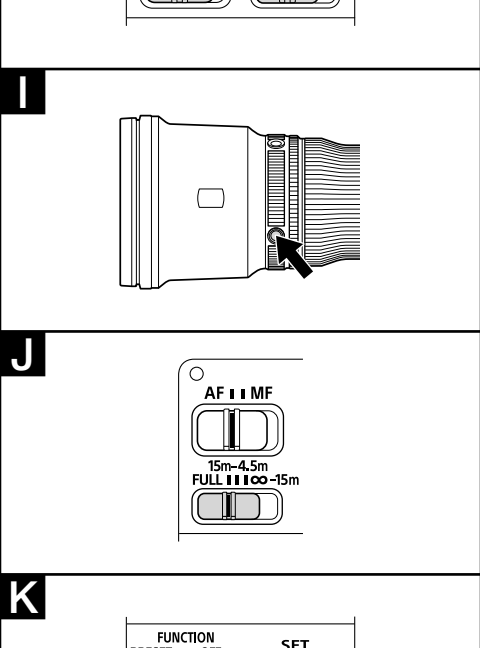
F



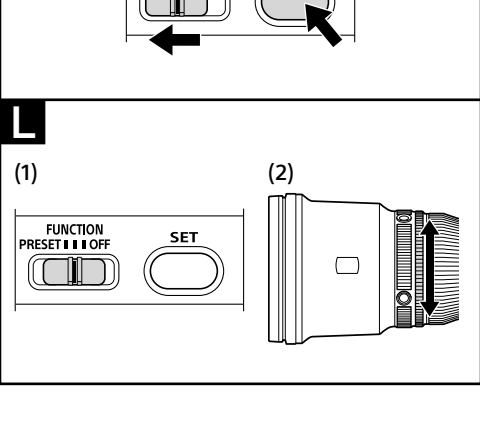
G



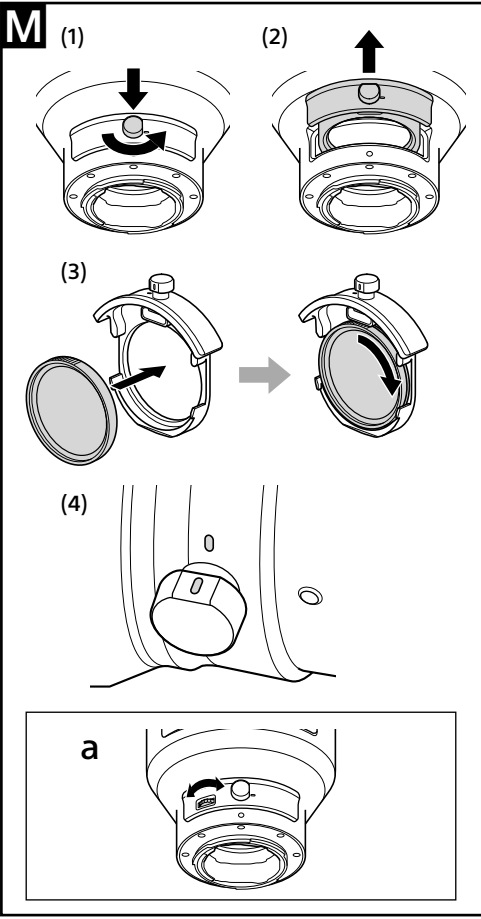
H



I



M



日本語

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説明しています。使用上のご注意など、レンズに共通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」でご覧頂けます。必ずご使用の前に、本書と合わせてよくお読みの上でご使用ください。

警告

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説明しています。使用上のご注意など、レンズに共通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」でご覧頂けます。必ずご使用の前に、本書と合わせてよくお読みの上でご使用ください。

B

レンズの取り付けかた／取りはずしかた

取り付けかた(イラストB-1参照)

1 レンズの前後レンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。

2 レンズとカメラの白の点(マウント標点)を合わせてはめ込み、カメラを軽くレンズに押し当てながら、矢印の方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。

• レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。

• レンズを斜めに差し込まないでください。

取りはずしかた(イラストB-2参照)

カメラのレンズ取りはずしボタンを押したまま、カメラの矢印の方向に回してはずす。

C

三脚を使う

三脚をお使いの場合、カメラの三脚ネジ穴ではなく、レンズの三脚台座に取り付けます。

縦位置・横位置の変更

三脚座リングクランプノブをゆるめると(1)、カメラごと任意に回転させることができます。三脚使用時に、安定感を損なわずに縦位置／横位置の変更をすばやくできます。

• 三脚座リングには、90°ごとにグレーの点(三脚座リング標点)があります。レンズ側のグレーの点(三脚座リング指標)と合わせると、カメラの正確な位置決めができます(2)。

• 使用状況やお好みに合わせて、三脚座リングを90°ごとに回転させたときの位置決めクリックの有無を選択することもできます。三脚台座上側のカバーを取りはずし、マイナースライダーなどで三脚座リングクリック切り替えスイッチを回してください(3)。CLICK ONの方向に回すとクリックあり、「OFF」の方向に回すとクリックなしに設定できます。

• 位置を決めた後は、三脚座リングクランプノブをしっかり締めてください。

• 三脚座リングを回転すると一部のカメラ本体、およびアクセサリと干渉します。カメラ本体、およびアクセサリとの干渉情報については専用サポートサイトでご確認ください。

D

レンズフードを取り付ける

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。

レンズフードの側面にあるフード着脱ノブをゆるめ(1)、レンズフードをまっすぐ斜めにレンズ先端に取り付け(2)。レンズフードが斜めになっていないかを確認し、フード着脱ノブをしっかりと締める。

レンズフロントキャップの取り付けかた(イラストD-a参照)

撮影後は、以下の手順でレンズフロントキャップをレンズフードに取り付けます。

1 レンズフードを逆向きにレンズに取り付けたあと、フード着脱ノブをしっかりと締めて、レンズとレンズフードを固定する。

2 レンズフロントキャップの穴と、レンズフード側面のフード着脱ノブの位置を合わせて奥までしっかりとはめ込み、面ファスナーを止めて固定する。

E

レンズストラップを取り付ける

レンズを持ち運ぶときなどは、レンズストラップを取り付けてください。

• 誤った取り付けかたをすると、レンズからレンズストラップがはずれて、レンズが落ちる恐れがありますのでご注意ください。

• レンズをカメラに取り付けた状態で持ち運ぶときは、レンズストラップを使用してください。カメラのストラップは使用しないでください。

F

レンズをケースに収納する

1 レンズフードとレンズキャップを取り付けた状態で、三脚座を手前にしてケースに入れる(1)。

• レンズフードのフード着脱ノブの位置は、ケース手前の凹部に合わせます。

• レンズストラップは、たんでレンズの下スペースに収納します。

2 ベルトでレンズをしっかりと固定する(2)。

3 レンズケースのふたを開け、レバーを押して鍵をかける(3)。

G

ピントを合わせる

• 本機のフォーカスモードスイッチは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF (オートフォーカス) / MF (マニュアルフォーカス)の切り替え

AF (オートフォーカス:自動ピント合わせ) / MF (マニュアルフォーカス:手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。

AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

レンズ側の設定

フォーカスモードスイッチを、AFまたはMFのいずれかに設定したいほうに合わせます(1)。

• カメラのフォーカスモードの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

• MFではファインダー等を見ながらフォーカスリングを回して、ピントを合わせます(2)。

• フルタイムダイレクトマニュアルフォーカススイッチをONに設定すると、AFのモード設定やピントの状態にかかわらず、フォーカスリングを回すと自動的にMFに切り替わります(3)。

AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

• AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、一時的にMFへ切り替えることができます。

• AF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時的にAFへ切り替えができるのは、レンズの設定がAF、カメラの設定がMFの場合となります。

H

手ブレ補正を使用する

手ブレ補正スイッチ

• ON : 手ブレを補正します。

• OFF : 手ブレを補正しないことをおすすめします。

手ブレ補正モードスイッチ

手ブレ補正スイッチをONにし、手ブレ補正モード切り換えスイッチを設定します。

• MODE1 : 主に、通常の手ブレを補正します。(ノーマル)を補正します。

• MODE2 : 移動する被写体を流し撮りする場合、手ブレを補正します。

• MODE3 : フレームワークを重視した手ブレ補正を行います。スポーツなど不規則に素早く動く被写体を追いかけやすくなります。

I

フォーカスホールドボタンを使用する

• 本機のフォーカスホールドボタンは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

フォーカスホールドボタンが4箇所に配置されています。

AF中にフォーカスホールドボタンを押すと、AFの駆動を止めることができます。ピントが固定され、そのまのピントでシャッターを切れます。シャッターボタンを半押しした状態で、フォーカスホールドボタンを離すと、AFが再開します。

J

フォーカスレンジ(AF駆動範囲)を切り替える

AFの駆動範囲を切り替えて、ピント合わせの時間を短縮できます。撮影距離が一定の範囲内に限られている場合に便利です。

フォーカスレンジ切り替えスイッチで、撮影距離範囲を選択する。

• FULL : 距離制限はありません。全域でピント合わせが可能です。

• 15m-4.5m : 15mから4.5mの範囲でピント合わせが可能です。

• ∞-15m : 無限遠から15mの範囲でピント合わせが可能です。

K

プリセットフォーカスを使用する

任意の撮影距離をレンズに記憶させておき、必要ときに瞬時に呼び出すことができます。

スポーツの試合など、動きの速い被写体をあらかじめ決めておいた撮影距離で撮影する場合などに便利です。

記憶させるには

1 ファンクションリング切り替えスイッチをPRESETに合わせる。

2 記憶させたい撮影距離にピントを合わせる。

• ピント合わせの方法は、AF、MF、DMFのいずれでも使用することができます。

3 SETボタンを長押しし、撮影距離を記憶させる。

• 記憶された撮影距離は、新たな撮影距離が記憶されるまで有効です。

• BEEPスイッチをONに設定している場合、撮影距離が記憶されたときに音が鳴ります。

• 差し込み式フィルターを交換するときは、フィルターを装着したあと、再度撮影距離を記憶させてください。

記憶を呼び出すには

1 ファンクションリング切り替えスイッチをPRESETに合わせる。

2 ファンクションリングを左右いずれかに回転させる。

• 記憶させた撮影距離にピント位置が移動します。

• BEEPスイッチをONに設定している場合、撮影距離が呼び出されたときに音が鳴ります。

L

パワーフォーカスを使用する

ファンクションリングを回転させて、一定速度でピント送りを行うことができます。

動画撮影時などには、スムーズにピント送りを行うことができます。

1

ファンクションリング切り替えスイッチをFUNCTIONに合わせる(1)。

2

ファンクションリングを回転させる(2)。

• フォーカスリングの回転方向と同じ方向に、一定速度でピント送りを行うことができます。

• ファンクションリングを回転させる角度に応じて、ピント送り速度を切り替えることができます。

• ピント合わせの方法は、AF、MF、DMFのいずれでも使用することができます。

M

差し込み式フィルターを交換する

お買い上げ時は、あらかじめノーマルフィルターが標準装備されています。

フィルターはレンズ光学系の構成要素の一部ですので、撮影時にはノーマルフィルターまたは偏光フィルターのいずれか1枚を必ず取り付けてください。

差し込み式フィルターの交換方法

1 差し込みフィルターノブを押しながら、レンズ先端に向かって反時計回りに90°回転させる(1)。

• 90°回転させると、差し込みフィルターノブの平らな面がレンズ先端を向きます。

2 フィルター枠をまっすぐ上に引き出す(2)。

3 フィルターを交換する(3)。

4 差し込みフィルターノブの平らな面をレンズ先端に向けて、差し込みフィルター枠をレンズに差し込む。

5 差し込みフィルターノブを押しながら、時計回りに90°回転させてロックする。

• ロックすると、差し込みフィルターノブの標線と差し込みフィルター枠の指標の位置が合います(4)。フィルター交換後は、差し込みフィルターノブが正しくロックされていることを確認してください。

別売の円偏光フィルター VF-DCPL1の使いかた(イラストM-a参照)

1 ファインダーなどを見ながら正確にピントを合わせる。

2 ファインダーなどを見ながら、差し込みフィルター枠上の調節リングを回して偏光度合いを調節し、撮影する。

• 水面、ガラスの入った額、窓や光沢のあるプラスチック、陶器、紙など、非金属面から余分な反射光(偏光)を取り除くことができます。

また、青空のコントラストを高めることもできます。

• 通常は反射光の消えたところで撮影しますが、青空などの状態を見ながら撮影者の意図に合わせて撮影することもできます。

• 撮像素子に到達する光量が減少するので、市販の露出計を使ってマニュアルモードで撮影する場合や、一部のフラッシュに搭載されているマニュアルフラッシュ撮影機能を使う場合は、+1〜+2段階程度露出補正を行ってください。

主な仕様

商品名 (型名)	FE 600mm F4 GM OSS (SEL600F40GM)
焦点距離(mm)	600
焦点距離イメージ*1(mm)	900
レンズ群一枚	18-24 (フィルター1枚含む)
画角11°	47°0'
画角22°	24°40'
最短撮影距離**2(m)	4.5
最大撮影倍率(倍)	0.14
最小絞り	F22
フィルター径(mm)	40.5
外形寸法(最大径×長さ) (約:mm)	163.6×449
質量(約:g)	3,040
手ブレ補正機能	あり

テレコンバーター(別売)との互換情報、装着時の主な仕様については専用サポートサイトでご確認ください。
<http://support.d-imaging.sony.co.jp/www/cs/cs/lens/body/>

*1 撮像素子がAPS-Cサイズ相当のレンズ交換式デジタルカメラ装着時の35mm判換算値を表します。
*2 画角1は35mm判カメラ、画角2はAPS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。
*3 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの距離を表します。
• レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無制限での定義です。

同梱物
(1)内の数字は個数)
レンズ(1)、レンズフロントキャップ(1)、レンズリヤキャップ(1)、レンズストラップ(1)、レンズフード(1)、レンズケース(1)、ケース用ストラップ(1)、ケース用鍵(2)、印刷物一式
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
α および G はソニー株式会社の商標です。

English

This instruction manual explains how to use lenses. Precautions common to all lenses such as notes on use are found in the separate "Precautions before using". Be sure to read both documents before using your lens.

This lens is designed for Sony α camera system E-mount cameras. You cannot use it on A-mount cameras.

The FE 600mm F4 GM OSS is compatible with the range of a 35mm format image sensor. A camera equipped with a 35mm format image sensor can be set to shoot at APS-C size. For details on how to set your camera, refer to its instruction manual.

For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

For Customers in the U.S.A.
For question regarding your product or for the Sony Service Center nearest you, call 1-800-222-SONY (7669) .

Supplier's Declaration of Conformity
Trade Name : SONY
Model : SEL600F40GM
Responsible Party : Sony Electronics Inc.
Address : 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number : 858-942-2230
This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Notes on use

• Do not leave the lens exposed to the sun or a bright light source. Internal malfunction of the camera body and lens, smoke, or a fire may result due to the effect of light focusing. If circumstances necessitate leaving the lens in sunlight, be sure to attach the lens caps.

• When shooting against the sun, keep the sun completely out of the angle of view. Otherwise, solar rays may be concentrated at a focal point inside the camera, causing smoke or a fire. Keeping the sun slightly out of the angle of view may also cause smoke or a fire.

• When carrying a camera with the lens attached, firmly grasp the body of the lens, such as the tripod collar.

• This lens is not water-proof, although designed with dust-proofness and splash-proofness in mind. If using in the rain etc., keep water drops away from the lens.

• When storing or carrying this lens, prevent it from dropping. During shooting, use a sturdy tripod with it.

Precautions on using a flash

• You cannot use a built-in camera flash with this lens.

Vignetting

• When using the lens, the corners of the screen become darker than the center. To reduce this phenomena (called vignetting), close the aperture by 1 to 2 stops.

Identifying the Parts

1 Focus-hold button 2 Function ring 3 Focusing ring 4 Tripod collar ring index 5 Tripod collar ring 6 Lens contacts*1 7 Tripod collar ring index 8 Tripod collar-locking knob 9 Filter-holder knob 10 Filter-holder 11 Lens mounting index 12 Lens mount rubber ring 13 Full-time direct manual focus switch 14 SET button 15 SteadyShot mode switch 16 Focus-mode switch 17 Focus-range limiter 18 Function ring select switch 19 SteadyShot switch 20 BEEP switch 21 Strap hole 22 Tripod collar 23 Screw holes for tripod attachment (two 1/4-inch holes, one 3/8-inch hole)*2 24 Tripod collar ring-clicking select switch 25 Security slot*3 26 Hood-locking knob 27 Lens hood

*1 Do not touch the lens contacts.
*2 You can attach the tripod (not supplied, screw length of up to 5.5 mm) that requires the 1/4-20UNC screw or the 3/8-16UNC screw for attachment.
*3 Attach a commercially available security wire to protect against theft.

Attaching/Detaching the Lens
To attach the lens
(See illustration B-1)

1 Remove the rear and front lens caps and the camera body cap.

2 Align the white dot on the lens barrel with the white dot on the camera (mounting index), press and hold the camera gently against the lens, and then slowly rotate the camera in the direction of the arrow until it clicks to lock.

• Do not press the lens release button on the camera when mounting the lens.

• Do not mount the lens at an angle.

To remove the lens
(See illustration B-2)

While holding down the lens release button on the camera, rotate the camera in the direction of the arrow until it stops, then detach the lens.

(Continued on the back side)

